

- 九州電力株式会社は、「九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050」のもと、再エネの主力電源化や原子力の最大限の活用、火力発電所の低炭素化及び新技術開発、送配電ネットワークの高度化、電化の推進に取り組みます。
- これにより、サプライチェーン全体でのGHG排出量を着実に削減するとともに、持続的な成長を図ります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2022年10月～2033年3月

2. 環境への負荷の低減に関する目標

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、2030年度には国内事業におけるサプライチェーンGHG排出量（Scope1+2+3）を2013年度対比65%以上削減することを目標とし、計画終了時点では更なる削減を目指す。

3. 生産性向上目標

従業員一人あたり付加価値額を6%以上向上させることを目標とする。

4. 支援措置

金融支援（利子補給）

5. 認証を受けた外部評価機関

DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

<取組の内容のイメージ>

